# 新厨房開設

朝の調理風景

十一月より、新たな厨房で、配食サービスのお弁当をつくるようになりました。

今後、高齢者をはじめ、食の問題はどんどん重要性を増していきます。

介護保険財源の問題からも、軽度者に対するサービスや生活援助の時間は減少傾向であり、食の質、生活の質を少しでも高めていくために、配食サービスに再注力しようと、厨房や運営体制を一新しました。

引き続き、すべて手作り国産で、化学調味料・半調理品不使用で、早朝から大鍋いっぱいの出汁をとり、家庭的な味わいで、日々の彩りとなる食事をお届けしていきます。

配達メンバーのミーティング

寄贈いただいた「スチームコンベック」
魚がふっくら焼きあがるほか、グラタンなども提供しています。

手作りのお弁当
住友管理栄養士監修のメニュー

建物外観（地域食堂開設予定場所）

「大阪市ボランティア活動振興基金」から「社会参加の空間整備支援事業」の助成金も受け、厨房の隣室である表側に、「地域食堂」も設け、近隣のお年寄りの方々をはじめ、様々な方々が集える居場所も、三月にはプレオープン予定です。

副理事長　小松　維久子

# 小中高生の夕食会

昨年の八月から、毎週水曜日、晩の六時からオープンしています。

十九歳の女の子が、自立相談支援事業（くらしサポートセンター守口）のスタッフの方と、昨年の夏の初めごろ訪れてきました。

色々と話をしている内に、とにかく始めてみようということになりました。以下、案内チラシから抜粋します。

**ホームスペース　花しょうぶ**

（水）18：00～

- 小中学生　無料
- 高校生　300円
- 大人　500円
- 大人（飲物）200円～

「立ち上げるきっかけとなったのは、私自身が中高生の時に第2の家のような居場所となる空間があればいいのにな、と思っていたからでした。

今、学校や家の中で居場所がないと感じている人は多いのではないでしょうか？また食事が十分にとれていない子どもたちが多いのも現状です。

そんな子どもたちにこの事業を通して、人の温かさ、人の繋がりを感じてもらえたらいいなと思っています。ホッとひと息つきませんか？（中谷梨帆）」

当初は、中高年の夕食会となっていましたが、知人の保護者のご協力のもと、子どもたちが食事に来てくれるようになり、にぎやかになってきました。

事務局長　隅田　耕史

私にとってここち良い空間、時間、人々です。

どこに座しても向こうの人が見える。人に心をよせる時があります。殊に一人すまいの私にはたのしいもので、今まで出会わなかった人のすがた、仕草、食べっぷり、話しっぷりを見聞きしているときのたのしさは、ここに行く毎に、発見、びっくり、感動です。そしてどんな感動って、好き勝手な言葉、行動を受け入れてもらえています。批判と云う裁きのない処の時を受けることです。もっとうれしいのは、料理がおいしいです。ちょっと年輩者向けの処が私にとってはよろこんでおりますが。

この料理もサポーターの方が、この花しょうぶレストランの中にいる人々を皆さんに楽しんでもらおうと、便利、簡単、公平（平等）を心して下さり、ホッとするのです。

そして、プライス、価格、値段、連続して楽しめますネ。

そんなたのしみを、近所の人、ちょっと遠くの人は月に一度ってたのしんでもらいたいです。

新しい人の出会いがありますように。

介護センター主催の催しでお酒の提供があるって？

親類の者が話します。最後はやっぱし、人間が老いた人も、少年、少女、そして現役で仕事をしてる方も来た道、行く道をさぐりながら「ほほえみ日和」をもちつづけたい、つくりたいし、あなたにおとどけしたいです。

毎週夕食を食べにきている　青原　尚子

（下写真中央）

# 「高校生活」

## 第二回

### ―一年をふりかえって―

一年ふりかえってぼくは、大きく変わりました。

最初は、不安を感じていました。でも、……

みんなとえんそくや文化さいに、体育さいの、行事があり楽しい時間をやりすごしました。

テスト勉強も、春夏秋冬と、そして学年末のテストに向けて、頑張ります。そこで、……重大のお知らせです。

最近ですが、彼女が出きました。ぼくの彼女の名前は、○○○○です。ぼくは、彼女のことを○○って言ってます。

それは、もう～ラブラブです。卒業したら、バイトや進学を、考えています。落ちついたら、引越をして、とおくにすもうと思います。そして、いつかは、結婚して、名前も変わると思います。

最後に、ぼくの将来のゆめは、保育士です。

第二のゆめは、声優です。また書くことがあれば、よろしくおねがいします。

by Goto

お弁当配達担当　後藤　利紀

大阪府立大手前高等学校 定時制課程
ホームページ（H26年度）より転載